

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 睦会	代表者	理事長 中沢 允	法人・ 事業所 の特徴	運営法人（昭和 52 年設立）は長野市と須坂市で高齢者中心の総合福祉事業を展開している。当事業所は「ゆっくり・のんびり・ほのぼのと」運営方針のもと、「利用者一人ひとりがその人らしく過ごせること」「身体機能の維持」「家族の介護負担の軽減」を目指している。
事業所名	むつみ家ほのぼの	管理者	青木 貴宏		

出席者	市町村職員	知見を有する もの	地域住民・地域 団体	利用者	利用者家族	地域包括支援セ ンター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1 人	1 人	2 人	人	1 人	1 人	人	2 人	3 人	11 人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の 確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成年後見人制度の理解や各種研修への参加など、毎年「できていない」と記載の項目について意識して取組む。</li> <li>・自己評価前に勉強会を行い、担当者会議や地域活動など、個人でなく事業所としてできている事項は全員が同じチェックができるよう視点を統一してから評価に取組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成年後見人制度については事務室に資料を提示したが勉強会はできなかったのが概要しか把握できていない。</li> <li>・自己評価前に勉強会を実施し、事業所としてできている事項は全員が把握できるよう個別業務や役割を再確認してから取り組んだ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成年後見人制度について、一般業務では概要理解で充分であり、詳細は各自の学習で良いと思う。</li> <li>・事業所として出来ている事項は全員が把握できるよう、個別業務や役割を再確認する評価前学習は適切である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所自己評価の「次回までの具体的な改善計画」を確実に実施していく。</li> </ul>
B. 事業所の しつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・看板設置については職員会議にて必要性を再検討し、結論を出す。</li> <li>・開設 10 年を越え、傷や汚れも増えているので年間で計画して美化、環境整備を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4 月の職員会議にて看板設置について検討し、地域にも認知されており、インターネット等で住所の検索もできるので景観を変えてまで設置する必要はないという結論に至った。</li> <li>・環境整備について、ワックス掛けや各種清掃など概ねできた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大通りからの入口にも看板があり、事業所の存在はわかりやすいと感じた。</li> <li>・現在の味わいのある建物の雰囲気維持しつつ、継続して維持・改善に努めて欲しい。</li> <li>・視察の際、トイレの臭いが気になった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境整備については、継続して行う。設備、備品の劣化しているものもあるので安全のため、必要に応じて入れ替えを検討していく。</li> </ul>
C. 事業所と地域の かかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小規模多機能についてもっと知っていただけるよう広告を作成し、常会や催し等、地域の皆様と関わる機会に配布する。</li> <li>・地域に出向く時は、担当以外の職員も参加できるよう調整する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小規模多機能についての広告は作成できなかったが、活動内容については広報誌を北村地区で回覧している。（年 4 回発行で現在 3 回発行）</li> <li>・管理者が主担当であったが、地区常会や地域活動は 3 名の職員が交代で参加した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北村地域以外（地区行政区）でも事業所の内容がわかるように広告か回覧をして PR しても良いのではないかと。</li> <li>・日々の介護業務もあり、職員全体で地域とかかわる事は難しいのではないかと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所主催の行事では、挨拶や御礼と共に事業概要を説明していく。また、広告を作成し地域活動の際に配布する。</li> <li>・地域に出向く担当を 1 名入れ替え、新たに関係を築いていく。</li> </ul>

<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の利用者の個性や背景が把握できるよう、把握している情報を記入して一覧にする。</li> <li>・在宅での暮らしを支えられるよう、必要に応じてその人のキーパーソンとなる人と連携を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モニタリングの方法を変えたことで個人ファイルやケアプランに情報をより集約することができた。</li> <li>・その時の状態に合わせ、必要な事業所内外のサービスを提案し、本人の希望やキーパーソンの意向に沿った支援をしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の利用者に対するモニタリングは良く出来ていると感じる。</li> <li>・在宅での様子、地域での様子の把握は難しいと思うが、それなりに理解出来ていると思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、その時の状態に合わせ、必要な事業所内外のサービスを提案し、本人の希望やキーパーソンの意向に沿った支援をしていく。</li> <li>・利用者の各担当職員が、その人の地域資源についてまとめる。</li> </ul>
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・寄せられた提案や意見について、改善した取組みや内容を次の会議で報告し、意見を活かした取組みを行っていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業報告にて寄せられた提案や意見について、改善した取組みや内容を次の会議で報告し、意見を活かした取組みができています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提案、意見の報告はあったが、検討した結果、取り組んだ内容、取り組めない内容の報告はなかった。</li> <li>・良くできていると思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・改善結果に対する取組みや経過など、その都度会議で報告し、意見交換をしながら取り組んでいく。</li> </ul>
<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防（水防法等）関連の法改正に沿った防災計画書の改定を行う。</li> <li>・通報訓練や消火栓の訓練など地区の防災活動に参加する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・9月に水害想定避難訓練実施し、同月下旬には台風接近時に伴い、安全のためサービスの一時中止を判断した。これらの事例を基に計画書を改定中。</li> <li>・事業所からの周知不足により自主防災会の通報訓練の電話がこなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害に伴うサービス提供中止について、利用者を自宅に戻すことが安全の確保につながるのかの観点から、同居者がいる場合、同居の場合を踏まえて対応の再検討が必要ではないか。</li> <li>・「ほのぼの」は千曲川に近いという地理的状況から、水害対応は最大限の努力が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全の確保については、特に独居や老々介護の利用者はご家族や成年後見人と相談し、災害の恐れのある時は速やかに連携がとれるよう取り決めをする。</li> </ul>